

(別紙)

『畜産業振興事業の実施のために独立行政法人農畜産業振興機構からの補助金の交付により造成した基金の管理に関する基準』に基づく報告・公表資料

1. 基金の基本的事項（平成30年度）

基金の名称	貸付機械取得資金（食肉加工施設等整備リース事業）
法人名	日本ハム・ソーセージ工業協同組合
基金額（機構補助金等相当額）	3,124百万円（1,562百万円）（平成30年4月1日現在）
基金事業の概要及び目標	機構からの補助により造成した基金により、同組合が組合員に対し、新製品の開発、製品等の品質・衛生管理及び二酸化炭素の排出量削減等に必要な機械等の貸付を実施することにより、国産食肉の需要拡大、畜産副産物の高付加価値化、衛生管理の向上を図ることを目的とする。
基金事業を終了する時期	新規貸付は平成34年度に終了。出資金回収は平成43年度（平成44年3月）まで実施し、平成44年度（平成44年6月）中に基金を閉鎖する予定。
給付対象となる事務又は事業の採択に当たっての申請方法、申請期限、審査基準、審査体制	食肉加工施設等整備リース事業貸付機械取得資金造成事業実施要綱及び同実施要領に基づき、申請を受け付け、審査を行う。

2. 見直し結果（平成30年度）

項目	講ずる措置		
実施した見直しの概要	基準に適合するよう事業を実施		
基金事業実施時期	平成43年度まで		
収入・支出等 （平成29年度実績）	①期首残高	1,433百万円	
	②収入	貸付料等	574百万円
		運用益	1百万円
		合計	575百万円
	③支出	事業費	390百万円
		管理費	103百万円
合計		493百万円	
	④期末残高（①+②-③）	1,515百万円	
交付決定等実績 （平成29年度実績）	交付決定等件数 71件 交付決定額等 390百万円		
基金の保有割合	算出した保有割合は0.9であった。算出に用いた方式及び数値については以下のとおりである。		

<p>基金の保有割合の算出</p>	<p>(算出に用いた方式)</p> $\text{保有割合} = (\text{直近年度末基金残高} + \text{直近年度末貸付残高}) \div (\text{直近年度末貸付残高} + \text{新規貸付見込額 (30年度} \sim \text{34年度)} - \text{回収見込額 (30年度} \sim \text{34年度)} + \text{管理費見込額 (30年度} \sim \text{34年度)})$ $= (1,515\text{百万円} + 1,609\text{百万円}) \div (1,609\text{百万円} + 4,017\text{百万円} - 3,259\text{百万円} + 772\text{百万円})$ <p>(算出に用いた数値)</p> <table> <tr> <td>直近年度 (29年度) 末基金残高</td> <td>: 1,515百万円</td> </tr> <tr> <td>直近年度 (29年度) 末貸付残高</td> <td>: 1,609百万円</td> </tr> <tr> <td>30年度～34年度までの新規貸付見込額</td> <td>: 4,017百万円</td> </tr> <tr> <td>30年度～34年度までの回収見込額</td> <td>: 3,259百万円</td> </tr> <tr> <td>30年度～34年度までの管理費見込額</td> <td>: 772百万円</td> </tr> </table>		直近年度 (29年度) 末基金残高	: 1,515百万円	直近年度 (29年度) 末貸付残高	: 1,609百万円	30年度～34年度までの新規貸付見込額	: 4,017百万円	30年度～34年度までの回収見込額	: 3,259百万円	30年度～34年度までの管理費見込額	: 772百万円
直近年度 (29年度) 末基金残高	: 1,515百万円											
直近年度 (29年度) 末貸付残高	: 1,609百万円											
30年度～34年度までの新規貸付見込額	: 4,017百万円											
30年度～34年度までの回収見込額	: 3,259百万円											
30年度～34年度までの管理費見込額	: 772百万円											
<p>使用見込みの低い基金等の取扱いの検討結果</p>	<p>使用見込みの低い基金等の該当の有無</p>	<p>無</p>										
<p>その他</p>	<p>(使用見込みの低い基金等に該当する場合の検討の結果)</p>											